

むし歯治療について

Q:むし歯の治療は痛いですか？

A:浅いむし歯ではあまり痛みを感じません。通常 C2 以上のむし歯ですと痛みを感じます。そのような場合は麻酔をさせていただければ、痛みなく治療できます。

Q:でも麻酔が痛くないですか？

A:はい。痛くないというウソになるかもしれませんが、しかし、可能な限り痛くないように、針の麻酔の前に表面麻酔をして痛みを緩和します。また、自動麻酔器により微量の麻酔薬注入スピードで行います。

Q:麻酔が効かないということはありませんか？

A:まずありません。しかし、症状が強い場合や体質など稀に効きづらい方はいらっしゃいますので、当院ではその都度違う方法で対処いたします。

Q:むし歯の治療の後は保険診療では銀歯になりますか？

A:部分的なむし歯の場合、前歯では銀を詰めることはありません。歯と同じような色の樹脂を詰めます。奥歯の場合もむし歯の大きさ、範囲によって、銀歯ではないものを詰めることが可能です。

Q:根しか残っていない場合は抜歯になってしまいますか？

A:レントゲン等の診査により慎重に決めさせていただきます。根しか残ってなくても抜歯しないで済む場合ももちろんあります。

歯周病治療について

Q:歯周病(歯槽膿漏)は治りますか？

A:歯周病の治療は、患者さんにも治療に参加していただくような形の治療となり、時間が掛かる場合がありますが、必ず改善します。

Q:患者さんが参加する治療ってなんですか？

A:ホームケア、セルフケアといわれる歯ブラシを中心としたお口の中のケアと食生活や生活習慣の改善などです。

Q:でも私は毎日3回以上歯ブラシしていますが？

A:はい。今の歯ブラシをより丁寧に、的確な患者さんの症状や生活習慣にあった歯ブラシの仕方にしていきます。

Q:もしかしてタバコはやめなくてはいけないのでしょうか？

A:タバコは歯周病にとってはあまりいいものではありません。そのような生活習慣をできれば改善していくようにします。

続く

Q: ぐらぐらの歯は抜かなくてはダメでしょうか？

A: 状態によりますが抜かずに治療することも可能です。

Q: 治療期間は長くなりますか？

A: 状態によりますが長くかかる場合もあります。

Q: 歯周病の治療は痛いですか？

A: これも状態によります。歯周病の状態が重度であれば、外科的な処置を必要としますし、なくなってしまった骨を再生する再生療法もやはり外科的な処置が必要になります。

Q: 痛いのはイヤなので薬だけでは治りませんか？

A: 強い痛みや強い症状がある場合、薬でその症状を改善することはできますが、その後できちんとした原因を取り除く治療をしないとまた痛みがでてきます。薬だけでは原因を取り除く治療はできないと思います。

根管治療について

Q: 神経を取るのには痛いですか？

A: 残念ながら神経を取るようになってしまった場合、その前に必ず麻酔の注射をします。麻酔が効いていれば治療中は痛くありません。

Q: ということは、麻酔が切れたら痛みますか？

A: 麻酔が切れた後は、痛みが出る場合があります。そのようなときのために鎮痛剤をお出しします。

Q: 神経を取ったあとは何回ぐらい通えばいいのですか？

A: 神経を取ったあと、痛みがなければ2回目までで神経があった穴(根管)を専用の材料で詰めます。神経の治療はそれで終わりになります。その後削った部分を修復する治療に移っていきます。

Q: 「根の先に膿が溜まっているから根の治療をします。」といわれたのですが、何をやるのですか？

A: 根の先に菌が入り込んでいる状態ですので、根の掃除をして菌をなくしていく治療をおこないます。

Q: 神経を取るのと違うのですか？

A: 菌が入り込んで膿を作っている場合、多くは神経の治療は以前に済んでいるか、神経は腐っている状態です。治療の仕方は似ていますが、根の中の状態はだいぶ違います。従って神経の治療よりも長くかかる場合が多いです。

続く

予防歯科について

Q: 予防歯科ってなんですか？

A: 今までの歯科の治療は疾患になってからの治療が主でした。予防歯科はできるだけ疾患にならないようにするという治療概念です。

Q: どのような治療をするのですか？

A: 歯科医師や歯科衛生士による口腔内のケアが主なものになります。

Q: 痛いのですか？

A: 痛みを伴うことはほとんどありません。

Q: どのくらいの頻度でやればいいのか？

A: お口の中の状態にもよりますが、3~6ヶ月に1度は行ったほうが良いと思います。

Q: 治療がすべて終わったあとも必要ですか？

A: はい。治療終了後その状態が長く維持できるようにするためには欠かすことできない処置です。

Q: インプラントの部位にも必要ですか？

A: はい。インプラントの部位は特に必要になります。

歯科口腔外科について

Q: 親知らずを抜きたいのですが、そちらではできますか？

A: はい。状態にもよりますが、だいたいは可能と思われます。

Q: 口を開けるコキコキ音がするのですがこれはなんですか？

A: 顎関節症かもしれません。

Q: 顎関節症の治療は痛いのですか？

A: マウスピースを使う治療の場合、痛みはありません。

Q: 舌を咬んでできた傷が治らないのですが

A: 歯の鋭縁や入れ歯などに当たっているのかもしれません。まず状態を確認させていただくのが一番だと思います。

続く

小児歯科について

Q:指しゃぶりをすると歯並びが悪くなるというのは本当ですか？

A:何歳ぐらいまでしているかにもよりますが、歯並びが悪くなる可能性はあります。できるだけ早い段階で取るようにしたほうがいいと思います。

Q:おしゃぶりなら大丈夫ですか？

A:おしゃぶりでも指しゃぶりと同様のことが言えますので、早めにとってあげたほうがいいと思います。

Q:お茶や水を飲むのが嫌いなのですが、スポーツドリンクなら大丈夫ですか？

A:スポーツドリンクの糖分は非常に高く 500ml のペットボトルの中に 3g のスティックシュガー約 9 本分の糖分になります。できればお茶やお水を飲めるようにしていただいたほうがお子さんのお口の中にとってはいいと思われれます。

矯正歯科について

Q:矯正治療は痛いですか？

A:新しい装置を入れたばかりやワイヤーを交換したときなどは、最初痛みを感じることはあります。治療自体は痛みを感じることは少ないと思います。

Q:矯正治療は子供のする治療ですか？

A:患者さん自身のやる気さえあれば、矯正治療は何歳になっても可能です。

Q:治療期間はどれくらいかかりますか？

A:治療を開始する年齢にもよりますが、お子さんの場合、一般的に長くなります。成人ですと2年前後が多いようです。

インプラントについて

Q:インプラントの手術は痛いですか？

A:全く痛くないということはありませんが、多くの患者さんが思ったより痛くなかった。といわれています。

Q:インプラントは自費診療のようですが、一生持つのですか？

A:残念ながら何もしないで一生もつという可能性は低いと思います。歯と同じようにきちんとしたメンテナンスが必要です。メンテナンス次第でインプラントの寿命は大きく左右されます。

続く

Q: 歯を抜いてからインプラントをする場合、何ヶ月も待たなければいけないのですか？

A: 歯を抜いてすぐインプラントをすることは可能です。またその方が、痛みや腫れが少なく、周囲の組織に対してもいい状態を保てる可能性があります。抜歯にいたる状態にもよりますが、非常にいい方法と思います。

Q: 上顎で骨の高さが低いからインプラントはできないといわれたのですが、インプラントは可能ですか？

A: 今は、可能な場合が多いと思われます。インプラントを維持するための骨をいろいろな方法で獲得するようにします。

Q: インプラントを入れてから咬めるようになるまでどれくらいかかりますか？

A: 状態によっては手術当日に仮歯を入れることができます。特に前歯部の場合など審美的に問題が出る場所では、可能な限り早期に歯を入れるようにします。

Q: インプラントをして身体に影響はありませんか？

A: 当院で使用しているインプラントはチタン製のものやチタンの表面にハイドロキシアパタイトという生体活性材料でコーティングされたものを使用していますので身体には全く影響ありません。

審美歯科について

Q: 差し歯で歯並びを換えることはできますか？

A: 状態によっては可能です。しかし、健康な歯を削るというリスクがありますので、矯正治療と比べてよく考えられたほうが良いと思います。

Q: 前歯にセラミックを入れているのですが、最近歯肉のあたりが黒ずんで見えるのですが？

A: セラミックの冠を作製する場合、セラミックの内側には金属を使用します。その金属が透過して黒っぽく見えていると思われます。

Q: 金属を使う以外はないのですか？

A: 現在では金属を全く使わないオールセラミックという冠があります。非常に色がきれいに仕上がります。また、歯の見える面だけ削ってその部分だけにセラミックを貼り付ける方法(ラミネートベニア法)も金属を全く使いません。

続く

ホワイトニングについて

Q: ホワイトニングは痛いですか？

A: 神経が生きている歯をホワイトニングする場合、一過性にしみる症状がでる場合があります。時間がたてば痛くなくなりますし、専用のジェルもありますのでそのジェルと併用してホワイトニングを続けることは可能です。

Q: 期間はどれくらいかかりませんか？

A: 個人差はありますが、1~2週間の使用でだいぶ変化してします。

Q: 神経のない歯のホワイトニングは痛くないですか。

A: ほとんど痛みなくできると思います。

義歯について

Q: 以前の歯科医院で入れ歯を作ったのですが、どのくらい経過すれば新しいものを作ることができますか？

A: 保険診療の場合、前回の入れ歯作製から6ヶ月経過していれば、新しい入れ歯を作る事ができます。

Q: 入れ歯がよく割れるのですがどうにかありませんか？

A: 保険の入れ歯の場合、使用できる材料に制限があるため、どうしても割れる場合があります。割れないように厚みをもたせれば、異物感が強くなってしまいます。

Q: 金属製の入れ歯はなんでいいのですか？

A: 金属製の入れ歯は強度があるため、薄くできます。温熱変化も伝わりやすいですし、歯にかけるフックもいろいろな構造が使用できるため、はずれにくいですし、目立たなくすることもできます。

Q: 金属の全く入っていないバルブラスト義歯は割れないのですか？

A: はい。弾力はあるですが、通常使用では割れません。フックも金属でないもののでつくれますので、義歯を入れているのがわかりにくく、見た目も非常にきれいです。

以上